

令和4年度

事業報告Ⅱ

(保育実践の評価と課題)



目次

1. ひよこ組 0 歳児保育活動報告 . . . P 1
2. ひよこ組 1 歳児保育活動報告 . . . P 3
3. りす組 2 歳児保育活動報告 . . . P 5
4. ぱんだ組・こあら組・うさぎ組 3 歳児保育活動報告 . . . P 7
5. ぱんだ組・こあら組・うさぎ組 4 歳児保育活動報告 . . . P 1 0
6. ぱんだ組・こあら組・うさぎ組 5 歳児保育活動報告 . . . P 1 3
7. ぱんだ組・こあら組・うさぎ組 3・4・5 歳児（異年齢）
保育活動報告 . . . P 1 5
8. 給食活動報告 . . . P 1 7
9. 特色のある保育活動 . . . P 2 3

ひよこ組0歳児 保育活動報告

1. 年間保育目標

- 1) 保育者との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、自発的に遊んだり、自己主張を活発にする
- 2) 個人差に留意しながら、離乳や歩行の完成に向けて保育を進め、健やかな成長を促す
- 3) 安心出来る環境の中で、聞く、見る、触れるなどの体験を通して、身の回りに対する興味や好奇心の芽生えを育む

2. 保育活動実践の報告

〈〈定期保育活動〉〉・誕生会（毎月1回） ・異年齢交流 ・散歩と自然散策

月	計画	実施状況	備考
4月	裸足保育（通年）	計画通り実施 ふれあい遊び（わらべうた）	
5月	散歩（園周辺）	散歩（園周辺）実施なし 6日 端午の節句の会 運動遊び（手作り階段昇降・マット）	
6月		感触遊び（寒天・米粉粘土・水） 運動遊び（手作り階段昇降・マット）	
7月	水遊び	計画通り実施 7日 七夕の会 感触遊び（水・氷・寒天・米粉粘土）	
8月	4日 スイカ割りごっこ	計画通り実施 10日 お盆の会 23日24日 夏祭りごっこ 感触遊び（水・氷・寒天・米粉粘土）	
9月		9日 お月見の会 運動遊び（手作り階段昇降・マット）	
10月	29日 運動会	計画通り実施 31日 ハロウィンの会	
11月	散歩（園周辺の公園） お話の会	計画通り実施 7日 みつる&りょうたコンサート 16日 パネルシアターの会	
12月	23日 クリスマス会	雪のため26日に延期 造形遊び（クレヨンでお絵描き）	
1月	お正月遊び 16日 どんど焼き 17日 おむすびの日	計画通り実施 19日 まっちゃんコンサート 20日 かば☆うまコンサート 運動遊び（大きなマットを昇り降り） 合奏遊び（タンブリン・鈴・カスタネット）	
2月	3日 節分の会 4日 発表会	計画通り実施 運動遊び（走る・くぐる・踊る・跳ぶ） 合奏遊び（タンブリン・鈴・カスタネット）	
3月	3日 ひな祭りの会 9日 春の運動会 10日 5歳児とのお別れ会	計画通り実施 23日 修了式 運動遊び（走る・くぐる・踊る・跳ぶ）	

3. 全体の評価・課題

- 1) コロナ禍の保育のため、保護者の保育室への立ち入りを制限した中で慣らし保育を進めていった。保護者と離れ、子どもたちと職員で短い時間から過ごす内に、涙を流しながらも保育者の言葉かけや関わりに触れ、保育者を安心できる存在と認識できていることを子どもたちの様子から伺うことが出来た。子どもたちの心身ともに健やかな発達を促すために、毎日の関わりの中でその子の名前を呼び、抱きとめて、触

れ合う時間を多く設けた。そして、子どもたちも保育者に対して視線を送り、手を伸ばして関わろうとしていた。生活の中で保育園が安心できる場所として捉えられるようになり、保育者からも自ら離れて遊び、食事を摂るなど自発的な姿も見ることが出来た。



- 2) 職員間で、子ども一人ひとりの性格や個性を把握し、それぞれに合わせた関わりをした。毎日成長していく子どもたちを見ながら、‘これが出来るようになった’ ‘ここを伸ばしてあげたい’ など、職員間で共有して伸び伸びと成長出来るように関わった。この年齢の成長を次年度へ引き継ぎ、保育者の子どもたちへの関わりに差が無いように留意する。一人ひとり成長の過程を把握し、寝て過ごす時期の子どもにはモバイルを用意して、目で楽しめるようにした。また、手に持ちやすい大きさの音の鳴る手作り玩具を準備し、子どもが自ら振って遊べるようにした。寝返りをしたり、座位が安定してくると、自身の周りにある物に興味を示して目で追ったり、手を伸ばしたりできるようになった。這い這いや歩行が完成してくると、活動の幅や遊び方も大きく変わってきたため、音楽を掛けて踊ることや、身体を動かせるように手作りの階段や滑り台を準備し、また天候のいい日には戸外に出て、伸び伸びと体を動かして遊び、健やかな発達を促した。食事の面では、月齢だけでなく、咀嚼や嚥下の状況など発達の面でも考慮し、保護者と共有して、離乳へ向けて準備を進めていった。



- 3) 年度の始めは、室内での活動を主に行った。体を動かすことを好む子、玩具で遊ぶことを好む子と、それぞれに応えることが出来るように保育環境を整えた。また、子どもたちの中には、友だちとのかかわりを楽しみ、同じことをして喜び、一緒に追いかけてっこをしたり、互いに‘いないいないばあ’をする姿が見られた。天候に留意しながら戸外に出ると、砂や植物、虫に興味津々で、自ら手を伸ばし触れていた。次年度は、戸外に出る機会を多く設け、子どもたちの興味関心をより引き出せるようにしたい。また室内に於いては、子どもたちの興味関心に合わせた内容の絵本を準備し、季節に合わせて絵本の入れ替えをした。保育者が読んで見せたり、子ども自身が絵本のページをめくることを楽しめるように、手の届く場所に設置をした。子どもたちは、絵本で見たものと自分の知っているものが一致すると、指をさしたり声を出して、保育者に知らせていた。そこからまた保育者と子どもたちとの関係性を築くきっかけにもなった。また、音楽に合わせて踊ることを好み、「もういっかい」と人差し指を見せながら音楽を掛けてほしいと伝える子もいた。繰り返して楽しむうちに、初めはじっくりと遊ぶことを好んでいた周りの子も、一緒に踊ることの楽しさを感じるようになり、運動会や発表会の内容に取り入れることに繋がった。0歳児の保育環境として、身体を動かしたり、ひとりでじっくり遊ぶ保育活動に取り組んできたが、子どもたちが一つの場所に集中して、押し合いになることもあったので、次年度は一人ひとりが満足して遊べる環境や心身ともに健やかな成長発達を促すことが出来る環境構成に重点を置き、取り組んでいきたい。



ひよこ組 1歳児 保育活動報告

1. 年間保育目標

- 1) 自我が芽生え、自分の要求や気持ちを行動や言葉で表し、自己主張する力を育む
- 2) 保育者との信頼関係の中、様々な行動や言葉で表し、自己主張する力が育つ
- 3) 保育者に支えられながら身の回りのことを自分でしようとし、できたことを喜ぶ

2. 保育活動実践の報告

〈〈定期保育活動〉〉・誕生会（毎月1回） ・異年齢交流 ・散歩と自然散策 ・お茶会

月	計画	実施状況	備考
4月	裸足保育（通年）	計画通り実施	
5月	散歩（園周辺） 夏野菜苗植え（ゴーヤ）	計画通り実施 夏野菜の苗植え 実施なし 6日 端午の節句の会	
6月	野菜の水やり	野菜の水やり 実施なし 散歩（分園周辺） 感触遊び（米粉粘土・センサーバック）	
7月	水遊び 野菜の水やり	計画通り実施 野菜の水やり 実施なし 7日 七夕の会 感触遊び（寒天・氷・春雨）	
8月	4日 スイカ割り大会 23、24日 お祭りごっこ 野菜の水やり・収穫	計画通り実施 感触遊び（氷・色付き寒天） 野菜の水やり・収穫 実施なし	
9月		9日 お月見の会	
10月	29日 運動会	計画通り実施 31日 ハロウィンの会	
11月	16日 パネルシアターの会 散歩（園周辺の公園）	計画通り実施 7日 みつる&りょうたコンサート	
12月	23日 クリスマス会	雪の為26日に延期	
1月	16日 どんど焼き 17日 おむすびの日（震災の日） カルタとり大会	計画通り実施 カルタとり大会 実施なし 19日 まっちゃんコンサート 20日 かば☆うまコンサート	
2月	3日 節分の会 4日 発表会	計画通り実施	
3月	3日 ひなまつりの会（お茶会） 9日 春の運動会 10日 5歳児とのお別れ会	計画通り実施 23日 修了式	

3. 全体の評価・課題

- 1) 言葉の出始めも個人差が大きいため、なかなか言葉で伝えることができない分、友だちの玩具を横から持って行ってしまったり、友だちを押しつけようとしたりする場面があった。保育者が子どもたちの気持ちを代弁しながら「○○って言おうね」と伝えると言葉を真似て相手に伝えようとする姿があった。また、異年齢での関わりにおいても玩具を0歳児さんに取られてしまうこともあり、涙したり怒ったりする姿もあったが、自分よりも小さいお友だちに玩具を貸してあげたいという想いも少しずつ芽生え始め、「いいよ」と玩具を貸してくれる様子も見られるようになってきた。玩具を貸してもらえたり、相手から反応が返ってきたりすると満足げな表情をしていた。後半期になるにつれて語彙も増えてきたことから、保育者や友だちに対しても「かして」や「○○がしたかった」など自分の気持ちを言葉にして表現することができるようになってきた子どもの姿がある。言葉の発達にも個人差はあるため、引き続き保育者が子どもの同士

の関わりを見守りながらも、時に仲介に入り代弁するなどして、子ども同士でも言葉のやりとりが進むようにしていく。



- 2) マスクを着けている分、表情が見えづらく子どもたちにとっては目や声で保育者がどのような様子なのかを判断しているのではないかと感じた。子どもたちの前でマスクを外して話すことが難しいため、絵本の読み聞かせの中で「だるまさんの」や「だっだあー」など顔のパーツや表情の変化が楽しめる絵本の際には、一瞬でも子どもたちに表情が伝わるよう意識して保育を行うようにした。生活の中でも保育者の声掛けや行動を真似する子どもたちの姿があり、絵本や玩具を踏んでしまったりする友だちを見かけると「大事よ」と声を掛けていたり、0歳児と1歳児の保育室間を移動する際に「行ってきます」「ただいま」と保育者に声を掛けてくれる姿が見られた。子どもたちもこの場面では「行ってきます」を使うのだと保育者を真似しながら自然と身に着けていけるように保育者が生活の中でも意識的に「行ってきます」「ただいま」「おかえり」などの言葉かけに取り組むようにしていきたい。



- 3) 身の回りのことに関しては、主に後半期に保育者と一緒に取り組むことが出来た。衣服の着脱においては、午睡前の着替えの際に保育者が衣服を畳んで見せた後に「一緒にやってみようか」と声を掛けて着ていた洋服を袋に入れることを行っていく中で、段々と保育者が声を掛けなくとも自ら衣服を脱いで畳み「せんせい、できたよ」「ひとりです」と取り組む子どもたちの姿も見られた。2月からは本園で移行保育を行ってきたこともあり、かばんがロッカーから取り出しやすくなったため子どもたちもより意欲的に取り組んでいたと感じた。排泄の際にズボンの着脱は経験していく機会が多かったためほとんどの子がひとりで行うことができるようになった。上の衣服に関しては、ボタンの掛け方や腕の通し方などを保育者が一緒に伝えながら行い、一人できるように援助していく。また、排泄においてはパンツへの移行を進めていくなかで、「きょうはこれにする」と自らかばんから取り出し意欲的に取り組む姿が見られた。パンツへの移行に関しては個人差があるため、月齢とその子自身の発達を考慮するとともに、家庭での状況を伺いながら保護者の方へ声を掛けていく。



りす組 2歳児 保育活動報告

1. 年間保育目標

- 1) 一人ひとりの自我の育ちを見守り受けとめながら、情緒の安定を図り、自分の気持ちを安心して表すことが出来るようにする
- 2) 保育者との安定した関わりのもとで、身のまわりのことを自分でしようとする心の芽生えを培う
- 3) 戸外遊びや様々な遊びを通して、自然物やまわりのものに対する感性を養う

2. 保育活動実践の報告

〈〈定期保育活動〉〉・誕生会（毎月1回） ・異年齢交流 ・散歩と自然散策

月	計画	実施状況	備考
4月	裸足保育（通年） 散歩（園周辺の公園）	計画通り実施	
5月	夏野菜の苗植え（ゴーヤ）	計画通り実施 6日 端午の節句の会	
6月	野菜の水やり お店屋さんごっこ（ジュース屋さん） 7日 いきいき出前コンサート	計画通り実施 いきいき出前コンサートは、 感染症対策の為、実施なし	
7月	野菜の水やり 水遊び	計画通り実施 7日 七夕の会	
8月	2日3日4日 スイカ割り大会 23日24日 お祭りごっこ 野菜の水やり・収穫	計画通り実施 10日 お盆の会 水遊び 感触遊び（氷・寒天・小麦粉粘土）	
9月		9日 お月見の会	
10月	29日 運動会 芋ほり	計画通り実施 31日 ハロウィンの会	
11月	マラソン開始 16日 パネルシアターの会 15日 七五三参り（浄蓮寺）	計画通り実施 7日 みつる&りょうたコンサート	
12月	23日 クリスマス会	雪の為26日に延期 16日 おにぎりクッキング 22日 冬至の日（柚子湯）	
1月	正月遊び 16日 どんど焼き 17日 おむすびの日（震災の日）	計画通り実施 劇遊び（桃太郎） 19日 まっちゃんコンサート 20日 かば☆うまコンサート	
2月	3日 節分の会 4日 発表会	計画通り実施	
3月	3日 ひなまつりの会 9日 春の運動会 10日 5歳児とのお別れ会	計画通り実施 23日 修了式	

3. 全体の評価・課題

- 1) 2歳児クラスに進級し、新たな環境での生活に慣れるまでは、特に戸外でじっくり遊ぶ時間を大切に、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら一緒に好きな遊びを見つけていった。その中で、子どもたちが虫や花など興味あるものを見つけた喜びに共感したり、友だちに上手く気持ちを伝えられず悔しいと思う気持ちを代弁したりと、その時々により寄り添う言葉かけを行った。
遊びの中で「自分が一番に使いたい」「友だちの持っているものが欲しい」といった気持ちから、物の取り合いが多々見られたが、お互いの気持ちを受容し、そして代弁出来るようにした。表現の仕方を伝えることを繰り返しながら、発達の姿に合わせて様々なわらべうたや簡単なルールのある遊びも取り入れた。

わらべうたのリズムに合わせて保育者や友だちと触れ合うことを楽しいと感じ、その遊びを繰り返す中で「順番を待つ」「友だちに譲る」「友だちに教えてあげる」といった我慢する力や思いやりの気持ちも徐々に見られるようになった。

また、簡単な昔話の絵本の読み聞かせを日常的に行い、子どもたちから友だちや保育者に話しかけて掛け合いを楽しむ姿が見られた。その姿から、表現遊びとしてペープサートを用いた劇を作り、発表会では自分のやりたい役を選んで人前での表現を楽しむ姿が見られた。行事の中では人前に出ることによって緊張する子どもの姿もあったが、一緒に挑戦したり適度に距離を取って応援しながら、取り組めた時にはしっかり褒めて認めることで次への意欲につながるように見守った。



- 2) 身の回りのことに関して、手洗い・消毒については戸外遊びから帰ってきた時や食事前には必ず行き、洗い方だけではなく、石鹸の適切な量や水の出っぱなしは「もったいない」ということも伝えてきた。また、発達に合わせて家庭からコップを用意して頂き、夏頃から食事前のうがいにも取り組んでいった。初めは「ぐちゅぐちゅうがいをしよう」と伝え、水を口に入れて出すことに慣れてから「ガラガラうがい」の仕方も伝えた。手洗い・うがいをする事に慣れてくると、段々とやり方が雑になってしまう子どもの姿も見られたため、冬にはおにぎりクッキングを行い、その際に手洗いの大切さと正しい洗い方について改めてイラストを用いて視覚的に伝えた。また、エプロンや三角巾を身につけることも、自分で作って食べることも、普段の活動とは違う特別な楽しさがあり、家庭でも親子でおにぎりを作ったという声を頂いた。衣服の着脱や着替えなどの整理整頓については、袖の脱ぎ方・ズボンのはき方を繰り返し伝えながら、自分でやってみようとする姿を見守り、「できたよ」と言った時にはしっかり褒めた。また、自我の育ちとともに、自分で出来ることでも「イヤだ」「できない」という姿も見られたが、その気持ちも受け止め、「今日は一緒にやってみよう」「自分でできるところまでやってみよう」と、適度な距離感を図り、担任間でもその都度会議や話し合いを通してその時々に関わり方を見直していった。

1月頃からは、家庭からお箸セットを用意してもらい、お箸セットの準備・片付けも自分で出来るようにやり方を伝えていった。特にバンダナを包むこと・布の端を結ぶことが難しく、最初は保育者が一人ひとり背後から一緒に手を持って結び方を伝えた。一人で結べるようになるには個人差があり、自分の鞆に入れること、鞆はロッカーに入れることも合わせて毎日伝えてきたが、以上児に進級するにあたり、自分の鞆のファスナーをきちんと閉め、自ら新しいロッカーで持ち物を整理整頓する意識を繰り返し伝えていく必要がある。



- 3) 園庭にプランターを置き、ゴーヤとアサガオの栽培を行った。保育者と一緒に水やりや収穫を行い、実が成り始めてからは特に生長を楽しみにする姿が見られ、絵や言葉として知っているゴーヤと本物のゴーヤが初めて一致し、理解する姿があった。また、給食室に届けることで栄養士との交流も楽しみながら、給食でゴーヤが出た際は一つ食べてみようとする姿も見られた。

戸外遊びでは季節を感じることを大切にし、夏には水遊びや寒天遊びを行った。氷の冷たい感触やツルツル滑ったり溶けて水になったりする様子も一緒に肌で感じ、遊びの中で濡れたり汚れたりした時にはその感覚も言葉にしながらシャワーや着替えをして快適に過ごせるように関わった。また、以上児が水遊びや泥んこ遊びをする様子に興味を持ち、一緒に遊びに加わったり、水たまりがある日には子どもたち自ら「工事現場ごっこ」と称して穴を掘ったり泥を掛けたりして遊ぶ様子を見守った。秋には落ち葉をかき集め、プールのように集めて音や感触を楽しむと共に、皆で園庭を歩いて拾い集めた落ち葉を製作に使用したり、箒と塵取りを使って掃除したりと様々な保育者・友だちと関わりながら経験することができた。また、小さな赤い実やドングリ、柿の種など園庭の中でいろいろな自然物を見つけ、袋に入れて持ち帰ることで、子どもたち自ら「今日はこんなものを見つけた」とやり取りを楽しむ姿が見られた。ほとんどは落ちているものの採集だったが、今後は、特に虫や花については持ち帰ってどうするのか問い、命を大切に扱うことも伝えていく必要がある。



ぱんだ組・こあら組・うさぎ組 3歳児 保育活動報告

1. 年間保育目標

- 1) 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む
- 2) 保育士や友だちと一緒に遊び、ぶつかり合う中で、人との関わりをより良いものにしていく
- 3) 様々な経験から気付いたことを、ことばで伝えたり描いたりして表現する
- 4) みんなで食べる楽しさを味わい、食べることの大切さがわかる

2. 保育活動実践の報告

〈〈定期保育活動〉〉・誕生会（毎月1回） ・同年齢保育、異年齢交流 ・散歩と自然散策
 ・クッキング ・お茶会

月	計画	実施状況	備考
4月	裸足保育（通年） 畑の土いじりと虫の観察 （カナブンの幼虫・ミミズ）	計画通り実施	
5月	さつま芋の苗植え カタツムリの飼育と観察 20日 散歩（明天寺公園）	計画通り実施	
6月	3日 散歩 7日 いきいき出前コンサート お店屋さんごっこ 畑の草取りと虫の観察 芋の水やり	計画通り実施	
7月	海遊び 草取り・芋の水やり	海遊びは実施なし 計画通り実施 7日 七夕の会	
8月	2日3日4日 スイカ割り大会 23日24日 夏祭り 草取りと芋の水やり	計画通り実施 10日 お盆の会	
9月	草取りと芋の水やり	計画通り実施 9日 お月見の会	
10月	草取りと芋の水やり 芋ほり 運動会	計画通り実施 運動会は11月5日に変更 31日 ハロウィンの会	
11月	マラソン開始 散歩（正助村） 観劇「ブレーメンの音楽隊」	計画通り実施 7日 みつる&りょうたコンサート 22日 お茶会	
12月	23日 クリスマス会	雪の為 26日に延期 22日 冬至の日 26日 もちつき体験	
1月	正月遊び 16日 どんど焼き 17日 おむすびの日（震災の日） かるた取り大会	計画通り実施 19日 まっちゃんコンサート 20日 かば☆うまコンサート かるた取り大会は実施なし	
2月	3日 節分の会 4日 発表会 お別れ散歩	計画通り実施 お別れ散歩は実施なし	
3月	3日 ひなまつりの会（お茶会） 9日 春の運動会 10日 5歳児とのお別れ会	計画通り実施 23日 修了式	

3. 全体の評価・課題

- 1) 初めての年長クラスとなり4月当初はなかなか全体での活動に入れない姿も見られていたが、一年間を通して様々な活動を行う中で、初めて行うことや新しいことなどにも興味を示し、積極的に参加する姿が見られていた。その一方で活動によっては途中で飽きてしまい最後まで続けるのが難しい時もあった。同年齢での活動だけではなく異年齢で生活する中で年上の友だちのしていることに興味を示し、真似してみたり一緒に遊びを楽しんだりする姿も見られていた。

絵の具遊びをする中では、保育者が赤・黄・青の色の三原色を準備するとそれぞれの色を伸ばしてみたり、色を混ぜると変化することに気付き楽しむ姿が見られていた。赤と黄色を混ぜたときにオレンジに変化したときには「みて！オレンジになった！ほかの色を混ぜたら何色になるかな？」と言って二色ずつ混ぜてみたり、三色全てを混ぜる姿があり、絵の具遊びを通して色の変化に気付くことが出来ていた。

初めてのお茶会では事前にお茶会中の約束事を確認することで、お茶室に入る際には約束事を思い出しながら参加する姿が見られていた。お茶会を通し季節の花に触れ自分の興味のある物や気に入った花を見つけたり、普段とは違うお茶会ならではの雰囲気を楽しむことが出来ていた。冬には健康な体作りをするためにマラソンを行った。マラソンを行う中では最初はすぐに疲れてしまう姿があったが繰り返し行うことで少しずつ体力がついていき、楽しみながらマラソンを行う姿が見られていた。またマラソンを通して走る楽しさを味わい戸外で遊ぶ際には子どもたちだけで鬼ごっこなどを展開する姿があった。餅つきではつきたての餅の感触を楽しみながら活動に参加する姿が見られており、実際におこわを食べることで餅とおこわの違いを感じる事が出来ていた。餅は食べることは出来なかったが、餅つきの活動を通してより食を身近に感じる経験が出来た。活動を行うにあたり餅つきに必要な道具についてや事前の準備などをもっとしておく必要があった。お正月明けには様々なお正月遊びを準備して子どもたちが好きなものを選んで遊べる環境を準備した。年上の友だちがかるたをしているのを見て一緒に参加する子もいれば、参加はしないものの近くでしている様子を見ている姿も見られていた。かるた遊びを通して文字への関心を深めるだけでなく日本の伝統の遊びに触れることが出来た。雪が降った日には雪の感触を実際に触って確かめたり、冷たさを感じたりする姿が見られていた。雪だるまを室内で作って観察し、戸外に出して自分の作った雪だるまがどのように変化するかを何度も見に行く姿もあった。なかなか降ることがないからこそ雪が降ったときにもっと遊びが展開できるように道具を準備したり、雪で怪我をせず楽しめるような工夫や遊び方を考えて伝えていく必要があった。



- 2) 友だちとの関りの中では、意見がぶつかりあうことやそれが原因でトラブルになってしまう姿も見られていた。しかし自分の意見を相手に伝えようとすることや、保育者が間に入りながら相手の話を聞くことで友だちの気持ちに気づくことが出来ていた。友だちとも関わりの中ではどうしても言葉が強くなってしまふことがあるので、繰り返し伝えていくとともに、子どもたちが気づくことが出来るように関わっていく必要がある。遊びの中では友だちとの関わりの中で言葉のやり取りを楽しんだり、役になりきって遊ぶ姿が見られていた。身近な人の言葉を真似したりしながら友だちとの関わりを深め、やり取りを楽しむだけではなく、生活の中で必要なことや、やるべきことなども保育者だけでなく友だち同士で伝えあうことが出来ていた。またそれらの経験を通して友だちと話し合ったり、ぶつかりあったときには自分の言葉で伝えることが出来ていた。発表会の練習を行う中では話すことや、役になりきるのが好きな子どもがいる一方で苦手な子もいるため仲のいい友だちと同じ役にする事で練習に積極的に参加する姿や友だちと一緒にあれば台詞を言うことが出来ていた。友だちと一緒に言うことが出来ることにより自信を持って人前でも発表することが出来ていた。



- 3) 様々な活動を行っていく中で子どもたちが感じたことなどを絵で表現したり、言葉で伝えることが出来るように機会を作っていた。お店屋さんごっこを行う中では、廃材を使ってクッキーやジュース作ったり、お金や財布作りなどを行った。子どもたちが作ったものを使ってお店屋さんごっこを行うと、普段の買い物の中で耳にする「いらっしゃいませ」というフレーズを真似してお店屋さんになりきる姿や年上の友だちがしていることをしっかりと観察して真似する様子が見られていた。環境として子どもたちが買ったものを広げることが出来るように机の上にテーブルクロスを敷いたり、椅子を準備していたので友だちと買ったものを見せ合ったりしながら楽しむ様子が見られていた。子どもたちの身近にある粘土などを使った遊びでは食べ物を作って見立てたりしながらも作ることの楽しさを味わうことが出来ていた。郵便屋さんごっこが始まると自分の好きな友だちに絵を描きプレゼントをすることが増えていた。友だちに手紙を貰うことで自分もお返しをしようとするが増え最初は興味を持っていなかった子も、友だちに手紙をもらうことで興味を示し活動に参加することが増えてきていた。クリスマスにはサンタさんへの手紙を描く活動を行った。絵を描く中ではサンタさんに向けて自分の欲しいものをはがきに描く子もいれば、サンタさんの絵を描く姿も見られていた。サンタさんの顔が分からず「描けない、描きたくない」という子どもの姿も見られていたが、サンタさんに関する人形や絵本を見に行くことでイメージが湧き、描くことが出来ていた。



- 4) 食事を行う中では友だちと一緒に食べることを楽しみにする姿があり、準備に時間がかかってしまう子も、友だちと一緒に食べたくて自主的に準備を進める姿も見られていた。その一方で準備が早い子どもと、準備に取り掛かるまでに時間を要する子の差があり、食事を一緒に取ることが出来ない時もあった。食事の準備を行う際にはなかなか準備に取り掛かれない子どもを気にかけていくと共に、その子どもたちが食事を楽しみに思うことが出来るようにしていく必要がある。畑活動をなかなか行うことが出来ず野菜の成長を見に行くことが出来なかったが、毎日登園する際に成長を確認し友達や保育者に教えてくれる姿も見られていた。野菜の収穫を子どもたちと一緒に行うことでそれらの野菜に親しむと共に、自分の収穫した野菜に特別感を持ち、苦手なものも少しは食べてみようとする様子が見られていた。晴れた日にはテラスや園庭でも食事を行った。園庭に食事の準備を保育者が行っている際には、子どもたちも一緒に手伝おうとする姿があり一緒に準備を行った。普段とは違う食事の雰囲気を楽しみながら食事を楽しむことが出来ていた。



ぱんだ組・こあら組・うさぎ組 4歳児 保育活動報告

1. 年間保育目標

- 1) ルールのある遊びや協力し合って取り組む活動が出来るようになる (遊び重視の保育)
- 2) 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わう (コミュニケーション重視の保育)
- 3) 豊かな生活経験を通して、面白さ、不思議さ、美しさなどに気付き、感じたこと、想像したことなどを様々な方法で表現する (生活体験重視の保育)
- 4) 野菜の栽培や収穫、調理などの経験を通して食の大切さに気付く (からだ育ての食育を重視した保育)

2. 保育活動実践の報告

〈〈定期保育活動〉〉・誕生会 (毎月1回)・同年齢保育、異年齢交流・散歩と自然散策・クッキング ・お茶会

月	計画	実施状況	備考
4月	裸足保育 (通年) 畑の土づくり 散歩 (明天寺公園) 花の種まき	計画通り実施	
5月	散歩 (正助村) 鈴虫の飼育と観察 夏野菜の苗植え (オクラ・きゅうり) コスモスの種まき (夏咲き) 草取り・野菜の水やり	計画通り実施	
6月	7日 いきいき出前コンサート お店屋さんごっこ 草取り・野菜の水やり	計画通り実施	
7月	海・磯遊び (神湊海岸) 草取り・野菜の水やり 野菜の収穫	計画通り実施 海・磯遊びは実施なし	
8月	2日3日4日 スイカ割り大会 23日24日 夏祭り 鈴虫の観察 (成虫) 土づくりと白菜種まき	計画通り実施 土づくりと白菜種まきは、 実施なし	
9月	コスモスの種まき	計画通り実施 9日 お月見の会	
10月	運動会 草取りと水やり	運動会は11月5日に延期 草取りと水やりは実施なし	
11月	マラソン開始 王丸探検 芋つるリース作り 7日 みつる&りょうたコンサート 15日 七・五・三参り (浄蓮寺) 観劇「ブレーメンの音楽隊」	計画通り実施 21日 菊花展 22日 お茶会	
12月	23日 クリスマス会	雪の為 26日に延期 26日 もちつき体験	
1月	正月遊び 16日 どんど焼き 17日 おむすびの日 (震災の日) かるた取り大会	計画通り実施 19日 まっちゃんコンサート 20日 かば☆うまコンサート かるた取り大会は実施なし	
2月	3日 節分の会 4日 発表会 お別れ散歩	計画通り実施 お別れ散歩は実施なし	
3月	3日 ひな祭りの会 (お茶会) 9日 春の運動会 10日 5歳児とのお別れ会 春野菜準備 (土づくり) ジャガイモ植え	計画通り実施	

3. 全体の評価・課題

- 1) 日々の生活や遊びの中で自分中心となり、友だちとトラブルになったり、言葉の口調が強くなったりする姿が見られていた。相手を意識することが出来るように、鬼ごっこやドッチボールなどの集団遊びを取り入れ、人とのかかわりを通して規範意識を育んだ。当初は、鬼ごっこで捕まると涙したり、怒ったり、意見がぶつかり合うこともあったが、次第に相手を意識しながら活動できるようになると、我慢をする力も生まれ、互いに協力し合う姿が見られるようになった。また、数や数字に興味関心がもてるような王冠ゲーム（王冠をじゃんけんでやり取りする）等を取り入れ、遊びを通して関心が深まると、生活の中では時間を意識し、時計を見ながら行動する姿が見られた。



- 2) 運動会や発表会など大きな行事に取り組む中では、一人ではできないことも友だちと協力し励まし合うことで乗り越えられることを学んだ。練習を始めていく中では自信が持てない姿、人前に立つことを恥ずかしがる姿など様々な姿が見られていた。日々の練習を行っていく中で、人前に立つ経験や周囲の人や保育者に認められる事により、自信を持って表現することができていた。また、次第に友だちと協力して行うことの楽しさを感じられるようにもなった。そして迎えた当日では、予想以上の力を発揮し、大きな拍手をもらうことで更なる自信をつけていた。人前で表現する経験を積んだことで、日々の生活の中でも積極的な姿が見られるようになり、友だちと関わること、協力することの喜びや楽しさを感じる事へも繋がった。コロナ禍であった為、地域との関わりや活動の制限が余儀なくされたが、次年度は出来る活動を増やし、経験する場を作っていきたい。



- 3) 夏には、水を使った遊び、冬には氷を使った遊びなど、その時期にしか味わえない遊びを取り入れた。保育をするうえで、とても大切な遊びの一つである感触遊びを通して、子どもたちは五感を刺激し、氷の冷たい感覚や感触を楽しんでいた。またメダカや金魚など、生き物と触れ合う環境を準備して、飼育を継続的にやり、お世話を通して生き物の成長に気付くこともできていた。また5歳児の当番活動に刺激を受け、生活の中で簡単な手伝いに取り組むことにより、人に感謝されること、相手を思いやる気持ちを感じる機会となった。自然豊かな環境の中では心が満たされ、園内では見られない新たな自分を発揮する姿もあった。園外での活動は、コロナ禍で実践が制限されたが、次年度は計画内容を精査し、できる活動を増やしていきたい。また、安全に活動が出来るように、きまりを知らせ、ルールを守り行動していく事も取り組んでいきたい。



- 4) 畑の土いじりから、栽培、収穫、そして味わうことに取り組んだ。夏には積極的に畑に行き、野菜だけでなく、土の中の生き物に触れたり観察をした。5歳児が図鑑を広げて調べる姿を真似る姿があり、探求心を育むことにも繋がった。収穫した野菜は給食で提供され、子どもたちの食への興味関心に繋がる事が出来た。野菜が苦手な子もいたが、一口でも食べてみようとする姿が見られ、食べることが、体づくりのもとになること、食べ物を作ってくれた人への感謝の気持ちを持つことが理解され、いただきますという気持ちを意識する姿が見られるようになった。次年度は、栽培・観察・収穫の他に、調理という経験が持てるように計画に取り入れていきたい。



ぱんだ組・こあら組・うさぎ組 5歳児 保育活動報告

1. 年間保育目標

- 1) ルールのある遊びや協力し合って取り組む活動が出来るようになる (遊び重視の保育)
- 2) 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わう (コミュニケーション重視の保育)
- 3) 豊かな生活経験を通して、面白さ、不思議さ、美しさなどに気付き、感じたこと、想像したことなどを様々な方法で表現する (生活体験重視の保育)
- 4) 野菜の栽培や収穫、調理などの経験を通して食の大切さに気付く (からだ育ての食育を重視した保育)

2. 保育活動実践の報告

〈〈定期保育活動〉〉 ・誕生会 (毎月1回) ・同年齢保育、異年齢交流
 ・赤間交流会、真愛保育園交流会、散歩と自然散策
 ・クッキング、お茶会 ・就学前活動

月	計画	実施状況	備考
4月	裸足保育 (通年) 9日 花まつり (浄蓮寺 畑の土づくり 散歩 (正助村) カブトムシの飼育と観察 アゲハチョウの飼育と観察 (パセリの栽培開始)	計画通り実施 花まつりは6月に延期	
5月	17日 王丸探検① 新玉ねぎの収穫 スイカの苗植え 花の種まきと成長記録 (あさがお) アゲハチョウの飼育と観察	計画通り実施	
6月	1日 散歩 7日 いきいき出前コンサート 梅干しづくり お店屋さんごっこ 草取り・野菜の水やり	計画通り実施	
7月	海・磯遊び (神湊海岸) 草取り・野菜の水やり スイカの収穫 カブトムシの成長	計画通り実施 海・磯遊びは9月に実施	
8月	2日3日4日 スイカ割り大会 23日24日 夏祭り 野菜の収穫 川遊び	計画通り実施 川遊びは実施なし	
9月	王丸探検 花の種まき (菜の花) 冬遊びの準備 草取りと水やり	計画通り実施 菜の花の種まきは実施なし	
10月	運動会 チャレンジキャンプ 草取りと水やり	運動会は11月に延期 キャンプは11月に延期 3日 カレークッキング 31日 ハロウィンパーティー	
11月	マラソン開始 カレー屋さんごっこ 観劇「ブレーメンの音楽隊」	計画通り実施 5日 運動会 7日 みつる&りょうたコンサート 9日10日 チャレンジキャンプ① 11日12日 チャレンジキャンプ②	
12月	23日 クリスマス会	雪の為 26日に延期 26日 もちつき体験	

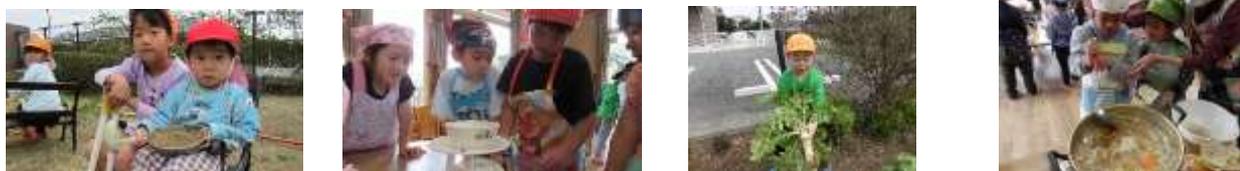
1月	正月遊び 16日 どんど焼き 17日 おむすびの日（震災の日） かるた取り大会は	計画通り実施 19日 まっちゃんコンサート 20日 かば☆うまコンサート	
2月	3日 節分の会 4日 発表会 お別れ散歩	計画通り実施	
3月	3日 ひなまつりの会（お茶会） 9日 春の運動会 10日 5歳児とのお別れ会	計画通り実施	

3. 全体の評価・課題

- 1) 友だちと喧嘩をした際に自分たちで話し合っ解決すること、キャンプや発表会といった保育活動の中でみんなで話し合っ決定し、決めたことをみんなで協力して取り組んでいくことを大切に、子どもたちに伝えながら関わってきた。皆で話し合うことや、皆で協力することの大切さを活動だけでなく遊びや生活の中で伝えていくことで、鬼ごっこやケイドロなどの集団遊びを保育者が介入しなくても自分たちで展開していくことが出来るようになった。また、話し合いにおいて相手の意見をしっかり聞こうとする姿や、一つの活動に対し、友だちと協力して取り組もうとする姿が見られるようになった。



- 2) 異年齢の関わりにおいて、運動会やスイカ割り、夏祭りといった行事や、年度末に行った未満児クラスのお手伝い活動などを取り入れていくことで、同年齢の友だちと協力しながら小さな友だちのお世話をする機会を設けることが出来た。その中で、自ら様々な友だちと関わろうとするだけでなく、小さな友だちとの関わり方を工夫する姿も見られるようになっていった。一方で、年長クラスでは同年齢での活動が中心となっており、異年齢クラスでの活動がほとんどなかった。異年齢クラスでの活動を増やすことで、行事だけでなく日常的な異年齢の関りを増やすことが出来るとよかった。



- 3) 子どもたちが自然現象や身近な自然に気づくことが出来るような声掛けをしたり、活動の中で子どもたちと一緒に調べたり興味を深めていく活動を取り入れていくことで、子どもたちが面白さ、不思議さに気づき、興味関心を広げることが出来るように関わることが出来た。朝顔の観察やキャンプ、海活動といった自然と関わる中で、自ら図鑑を広げて調べたり、気づいたことや調べたことを友だちや保育者に伝えあう姿が見られた。活動で取り組んでいく中では、言葉で表現するだけでなく、絵でかいたり、字で書いたりして表現することが出来ていた。調べる活動については、他クラスや保護者に向けて調べて表現したものを披露する機会をもっと設けるとよかった。



- 4) 野菜の栽培・収穫に関しては、夏野菜や稲を植え、収穫を行った。収穫した食べ物についてもクッキングを取り入れていくことで、調理の楽しさや食材への興味を高めることが出来た。課題としては、冬野菜の栽培、継続的な畑の手入れが出来ていなかったことがあげられる。栽培する野菜の種類や時期など、計画をたてて実行していくとともに、水やりや草取りなどを、もっと子どもたちと一緒に取り組むことが出来るとよかった。



ぱんだ組・こあら組・うさぎ組 3・4・5歳児（異年齢）

保育活動報告

1. 年間保育目標

- 1) 生活やあそびの中でお互いに「思いやり」や「憧れ」をもつ気持ちが育つ（遊び重視の保育）
- 2) 豊かな生活経験を通して自信をもって自分の気持ちや考えを表現できるようになる
（コミュニケーション重視の保育）
- 3) さまざまな経験が子ども達の自信に繋がるようにそれぞれの子どもの良さをしっかりと受けとめていく
（生活体験重視の保育）
- 4) 食習慣や食事の大切さを知り、マナーを守って楽しく食事をする。（からだ育ての食育を重視した保育）

3歳児の評価・課題

- 1) 前期は年上の子たちと一緒に遊んでもらったり、午睡時に体をさすってもらったりするなどの関わりを持つようになった。後期からは、2歳児と異年齢として生活するようになり、自分たちが年上だということを意識する姿が見られるようになってきた。思いやりと憧れの気持ちを持つことが出来た。
- 2) 困っているときに4・5歳児の子どもたちから、手助けをしてもらったり、お世話をしてもらったりすることが多かった。その事により年長児としての生活も早く慣れる姿が見られたことは良かった。しかし中には、手伝ってもらおうことが当たり前になってしまうことで、することを自分でしようとしなないこともあったので、後期からは自分で最後までやり遂げることを伝えていった。
- 3) 雑巾がけや掃除などを年上の子と一緒にする機会があった。雑巾の絞り方を学んだり、掃除の準備の仕方を真似てみたりするなどが見られ、生活の仕方を自然と学んでいる姿が見られた。
- 4) 生活の中で食事を一緒にする機会があった。遊びなどの別のことに目が向いてしまい準備がゆっくりとなってしまうことが見られていたが、年上の子と一緒に連れて行ってもらうなどしながら、食事へと向かうことが出来るようになる姿も見られた。今後も自ら食事の準備をして食べ、そして最後まで片付けをするという食事の流れも身につけていく必要がある。



4 歳児の評価・課題

- 1) 遊びの中で、自然と異年齢で関わる姿が見られた。特に年上の子が遊んでいることに興味を持ち、一緒に遊びに混ざってルールのある遊びを一緒に行う姿などが見られた。遊びの中で5歳児がリードする姿を見て、憧れの気持ちを持つ姿も見られるようになった。
- 2) 5歳児がお当番の仕事をする姿を見て、自分たちもやって、見たいという気持ちが芽生えてくるようになった。そのことにより、何か手伝うことはないかと自ら尋ねる姿、率先して手伝おうとする姿が見られるようになった。
- 3) 運動会や発表会といった大きな行事を他の年齢と一緒にする中で、年下の子には優しく声を掛け、困っている子を手伝ってくれる姿や年上の子へは頑張る姿を見て憧れの気持ちを持つことにもつながっていった。そのことが進級への期待にも大きくつながっていった。
- 4) 食事を一緒にすることにより、食事のマナーも意識する姿が見られていた。しかし中には、早く食べることに固執してしまう姿も見られていたので、よく噛んで食べることや三角食べを行えるようにするなど声を掛けていくことがあった。次年度にも繋いでいく。



5 歳児の評価・課題

- 1) 遊びの中で同年齢での関りになりがちな事があった。年度末は、他クラスに手伝いに行くことにより、様々な年齢の子との関わりが持てる機会を作った。今まで年下のことの関りがあまり見られなかった子も積極的にお世話をしてくれる姿も見られていたので、いい機会になったと感じた。
- 2) 異年齢での関わりを日々の中で持つことにより相手に対して思いやりの気持ちをもって関わる姿が増えてきた。時に上手くいかずに悩んでしまうこともあったが経験を重ね、子どもたちの自信にもつながっていた。
- 3) 運動会や発表会、キャンプといった最年長児ならではの行事や活動を子どもたちが意欲をもって取り組むことができるよう取り組んだ。子どもたちは、友だちと協力しながらそれぞれの目標を持ち取り組む姿が見られた。また年下の子たちから憧れの気持ちを持たれることにより、達成感にも繋がっていた。
- 4) 食事の準備をお当番活動として取り組むようにしていった。お手伝いをする事により自信に繋がるようになった。またその姿を見て、年下の子と一緒にやってみたいという気持ちを持つことにも繋がった。



給食活動報告

1. 年間給食目標

- 1) 衛生面に気をつけて安全で安心できる食事を提供する
- 2) 保育士と給食室が連携を持ち、積極的に食育に繋げていく
(・食に興味を持って楽しく食べる ・基本的な食習慣を身につける ・食に対する感謝の気持ちを知る)
- 3) 日本ならではの四季を感じつつ、旬の食材などを使う

2. 給食活動実践の報告

月	計画	実施状況	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園祝い 「タンドリーチキン、ブロッコリーのツナサラダ、花麩の清汁、桜ご飯、りんご」 ・料理「おやつ 桜餅」 「おやつ 竹の子おにぎり」 ・給食だより「春野菜について」 ・郷土料理 「福岡県 筑前煮」 「山口県 けんちょう」 「岡山県 若竹汁」 ・畑活動「夏野菜 うね作り」 ・絵本メニュー 「はらぺこあおむしカップケーキ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園祝い 「タンドリーチキン、ブロッコリーのツナサラダ、花麩の清汁、桜ご飯、りんご」 4/11 ・料理「おやつ 桜餅」 4/11 「おやつ 竹の子おにぎり」 4/20 ・給食だより「春野菜について」 4/28 発行 ・郷土料理 「福岡県 筑前煮」 4/12 「山口県 けんちょう」 4/28 「岡山県 若竹汁」 4/13 「静岡県 安倍川りんご」 4/8 ・畑活動「夏野菜 うね作り」 ・絵本メニュー 「はらぺこあおむしカップケーキ」 4/28 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼりランチ 「こいのぼりカレー、海藻サラダ、バナナ」 ・料理「おやつ よもぎケーキ」 ・給食だより「端午の節句について」 ・郷土料理 「千葉県 いわしのつみれ汁」 「宮崎県 かやくご飯」 ・畑活動「苗植え」 ・絵本メニュー 「ねずみくんのホットケーキ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼりランチ 「こいのぼりカレー、海藻サラダ、バナナ」 ・料理「おやつ よもぎケーキ」 ・給食だより「端午の節句について」 5/30 発行 ・郷土料理 「千葉県いわしのつみれ汁」 5/31 「宮崎県 かやくご飯」 5/31 「北海道 鮭のちゃんちゃん焼き」 5/20 ・畑活動「苗植え」 ・絵本メニュー 「ねずみくんのホットケーキ」 5/31 	

<p>6月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・梅干し作り「5歳児対象」 ・地域支援「マザーリング」 ・給食だより「生活習慣病について」 ・郷土料理 「北海道 鮭の変わりマヨネーズ焼き」 「長崎県 ちゃんぽん」 ・絵本メニュー 「ばばあちゃんのなんでも おこのみやき」 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅干し作り「5歳児対象」 ・地域支援「マザーリング」中止 ・給食だより「生活習慣病について」 ・郷土料理 「北海道 鮭の変わりマヨネーズ焼き」 「長崎県 ちゃんぽん」 ・絵本メニュー 「ばばあちゃんのなんでも おこのみやき」6/30 	
<p>7月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕ランチ 「七夕そうめん、チーズハンバーグ、 ピラフ、オレンジ」 ・梅干し作り「5歳児対象」 ・給食だより「夏野菜について」 ・郷土料理 「沖縄県 ゴーヤチャンプル」 「宮崎県 チキン南蛮」 ・畑活動「収穫 ゴーヤ、胡瓜、 オクラ、ピーマン」 ・絵本メニュー「おぼけのてんぷら」 	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕ランチ 「七夕そうめん、チーズハンバーグ、 ピラフ、オレンジ」7/7 ・梅干し作り「5歳児対象」 ・給食だより「夏野菜について」7/28 発行 ・郷土料理 「沖縄県 ゴーヤチャンプル」7/13 「宮崎県 チキン南蛮」7/27 「沖縄県 ジューシー」7/13 ・畑活動「収穫 ゴーヤ、胡瓜、 オクラ、ピーマン」 ・絵本メニュー「おぼけのてんぷら」7/28 	
<p>8月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だより「おやつについて」 ・郷土料理 「沖縄県 サーターアンダギー」 「大分県 とり天」 ・地域支援「マザーリング」 ・畑活動「収穫 ゴーヤ、胡瓜、 オクラ、ピーマン、なす」 ・畑活動「冬野菜 うね作り」 ・絵本メニュー 「夏やさいのなつやすみ夏野菜カレー」 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だより「おやつについて」8/31 発行 ・郷土料理 「沖縄県 サーターアンダギー」 「大分県 とり天」8/31 ・地域支援「マザーリング」中止 ・畑活動「収穫 ゴーヤ、胡瓜、 オクラ、ピーマン、なす」 ・絵本メニュー 「夏やさいのなつやすみ夏野菜カレー」8/30 	
<p>9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お月見「お月見蒸しパン」 ・お彼岸「おはぎ」 ・給食だより「朝ご飯の大切さ」 ・郷土料理 「北海道 ザンギ」 「新潟県 きりざい」 ・畑活動「苗植え」 ・絵本メニュー「おいもさんがね・・・ スイートポテト」 	<ul style="list-style-type: none"> ・お月見「お月見蒸しパン」9/9 「お月見うどん」9/9 ・お彼岸「おはぎ」9/20 ・給食だより「朝ご飯の大切さ」9/30 発行 ・郷土料理 「北海道 ザンギ」9/28 「新潟県 きりざい」9/28 ・絵本メニュー「おいもさんがね・・・ スイートポテト」9/28 	

<p>10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもチーズホンデュ ・給食だより「よく噛んで食べる」 ・郷土料理 「福岡県 テンペ入りつくね」 「熊本県 いきなり団子」 ・地域支援「マザーリング」 ・絵本メニュー 「ハッピーハロウィンクッキー」 	<ul style="list-style-type: none"> ・畑活動「芋ほり」 ・給食だより「よく噛んで食べる」 10/31 発行 ・郷土料理 「福岡県 テンペ入りつくね」10/5 「熊本県 いきなり団子」10/12 「福岡県 鶏すきやき」10/17 ・畑活動「大根畝作り、苗植え」 ・地域支援「マザーリング」中止 ・絵本メニュー 「ハッピーハロウィンクッキー」10/31 	
<p>11月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・畑活動「芋ほり」 ・ラーメン屋さん ・手洗い指導 ・給食だより「お箸の持ち方について」 ・郷土料理 「愛知県 味噌煮込みうどん」 「福岡県 鶏すきやき」 ・地域支援「マザーリング」 ・絵本メニュー 「せかいでさいしょのポテトチップス」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラーメン屋さん ・給食だより「お箸の持ち方について」 11/30 発行 ・郷土料理 「愛知県 味噌煮込みうどん」11/30 「福岡県 鶏すきやき」11/15 ・地域支援「マザーリング」中止 ・絵本メニュー 「せかいでさいしょのポテトチップス」 11/18 ・子どもチーズホンデュ 	
<p>12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会 「フライドチキン、ポテトサラダ、 オレンジピラフ、かぼちゃのポター ジュ、バナナ」 ・年越しうどん ・給食だより「郷土料理について」 ・畑活動「冬野菜収穫 大根・白菜」 ・郷土料理 「秋田県 そぼろ丼」 「福岡県 だぶ」 ・絵本メニュー 「バムとケロの日曜日ドーナツ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会 「クリスマスカレー、ポテトサラダツリー、 えのきのスープ、みかん」 ・年越しうどん ・給食だより「郷土料理について」 12/28 発行 ・郷土料理 「秋田県 そぼろ丼」12/3 「福岡県 だぶ」12/14 ・絵本メニュー 「バムとケロの日曜日ドーナツ」12/15 ・手洗い指導 	

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・お節料理 「のしどり、煮しめ、大根なます、 花麩の清汁、みかん」 ・おむすびの日 「手作りおむすび、ししゃも、みそ汁」 ・七草がゆ ・鏡開きぜんざい ・ピザ屋さん ・給食だより「行事食について」 ・郷土料理 「静岡県 するがちらし」 「岩手県 ジャジャ麺」 ・絵本メニュー 「おでんのゆ おでん」 	<ul style="list-style-type: none"> ・お節料理 「のしどり、筑前煮、紅白なます、 花麩の清汁、ごま塩ごはん、 うさぎりんご」 ・おむすびの日 「手作りおむすび、ししゃも、豚汁」 ・七草がゆ ・鏡開きぜんざい ・ピザ屋さん ・給食だより「行事食について」 1/23 ・郷土料理 「静岡県 するがちらし」 1/25 「岩手県 ジャジャ麺」 1/24 ・絵本メニュー 「おでんのゆ おでん」 1/19 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分 「ケチャップライス、鶏肉のスタミナ 焼き、スパゲティサラダ、 みかん」 ・5歳児リクエストメニュー ・給食だより「リクエストメニュー ～オススメレシピ～」 ・郷土料理 「奈良県 にゅうめん」 「和歌山県 梅ちりめんごはん」 ・絵本メニュー 「めんたべよう ラーメン」 	<ul style="list-style-type: none"> ・節分 「ケチャップライス、鶏肉のスタミナ 焼き、スパゲティサラダ、 わかめスープ、いちご」 ・5歳児リクエストメニュー ・給食だより「リクエストメニュー ～オススメレシピ～」 2/28 発行 ・郷土料理 「奈良県 にゅうめん」 2/14 「和歌山県 梅ちりめんごはん」 2/16 ・絵本メニュー 「めんたべよう ラーメン」 2/16 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなまつりランチ 「ちらし寿司、唐揚げ、三つ葉の清汁、 マカロニサラダ、いちご」 ・ハンバーガー屋さん ・給食だより「楽しい食生活」 ・郷土料理 「和歌山県 和風みそ入りチャウダー」 「北海道 どさんこ汁」 ・絵本メニュー 「おひなまつりのちらしずし」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなまつりランチ 「ちらし寿司、唐揚げ、三つ葉の清汁、 ポテトサラダ、いちご」 ・ハンバーガー屋さん 3/7 ・給食だより「楽しい食生活」 3/22 ・郷土料理 「和歌山県 和風みそ入りチャウダー」 3/28 「北海道 どさんこ汁」 3/15 ・絵本メニュー 「おひなまつりのちらしずし」 3/3 ・畑活動「大根収穫」 	

3. 評価・課題

- 1) 日々給食を提供する上で、子ども達が安全で安心できるよう食中毒マニュアル、大量調理マニュアルに基づき作業を行っている。また、食材の鮮度や温度、賞味期限、中国産でないかを納品段階でしっかり確認した。職員間でもクラス会議などで定期的にマニュアルの確認を行った。調理中でも食材の異変に気付いた際は周囲の職員同士確認を行い、業者へ確認を行い対応した。
- 2) 畑に子どもたちと一緒にいき、野菜を収穫することにより、苦手な野菜も頑張って食べる姿が見られた。また、大根は苗を植える作業から収穫、収穫後おでんクッキングを行うことで食材に興味を持ち食べる姿が見られた。三色食品群に関しては身体の中に入った食材がどうなるのかを説明し、バランスよく食べる事で健康なうんちがでることや三色食品群の赤・黄・緑を食べることによってどのように自分達の身体がどうなるのかを知り、家庭に於いても苦手な物が食べられるようになったことを話してくれる姿があった。
- 3) 毎月のクラス会議で次の月の献立を考える中で、行事食や旬の食材を子ども達が美味しく興味を持って食べてくれるよう考え提供を行った。次年度は、旬の食材に触れる機会をもっと作りたいと思う。また、物価高の影響でじゃが芋などの食材が高騰している場合は別の食材で栄養素を補うなど献立を工夫した。

〈行事食〉



ひな祭り



おせち料理



〈郷土料理〉



千葉県 いわしのつみれ汁



沖縄県 ジュシー

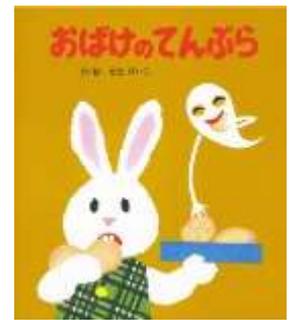


北海道 ザンギ



福岡県 鶏すき

〈絵本メニュー〉



ねずみくんのホットケーキ

はらぺこあおむし
カップケーキ

ばばあちゃんのなん
でもお好み焼き

おぼけのてんぷら

〈誕生者と園長先生との会食〉



〈リクエストメニュー 5歳児（年長児）思い出メニュー〉



水ようかん



ちらし寿司



ドライカレー

〈5歳児と園長先生の最後のお別れ給食〉



特色のある保育活動

【花まつり】

4月8日はお釈迦様の生まれた日である。花まつりとは、お釈迦様の誕生をお祝いする日であり、第二赤間保育園では毎年保育園の近くにある浄蓮寺へ、住職さんの法話を伺いに行っている。お釈迦様に甘茶かけをして、いのちの尊さ、感謝の気持ちの大切さを振り返る良い機会となった。



【植物との関わり】

キアゲハやモンシロチョウを呼ぶために畑にパセリやキャベツを植えた。葉が大きくなると、沢山の幼虫が集まるようになり、子どもたちは興味をもって昆虫の観察を行っていた。また、個々の植木鉢に朝顔の種を植えてその生長の観察を行った。「朝顔の芽は出たかな?」「葉っぱが出てる!」など、土から朝顔が芽を出した時から、子どもたちは毎日水やりをしたり、観察しに行ったりと朝顔の生長を大切に見守っていた。そして大きな花がいくつも咲くと、保護者にも「見て!」と伝え、親子で観察する姿も見られていた。花が咲いた後もその花を活動に取り入れ、花びらを摘んで水に浸け、色水遊びにも繋げていくことが出来た。



【スイカ割り大会】

毎年保育園の畑でスイカを育てている。登降園の際には畑の横の道を子どもたちは毎日通ることもあり、「先生、小さい赤ちゃんスイカを見つけたよ!」「スイカが大きくなってたよ。早く食べたいな〜」と、子どもたちからスイカの生長を心待ちにしている姿もみられていた。8月になり、大きく実ったスイカを収穫し、スイカ割り大会を行った。2歳児から5歳児までの子どもたちがグループに分かれ、一人ずつ棒を持ってスイカ割りに挑戦し、3・4・5歳児の子どもたちは目隠しをして、周囲からの「前だよ!」「一歩右だよ!」という元気な掛け声をよく聞きながら、一歩ずつ前へ進むことが出来ていた。そして棒を振りかぶって、スイカに棒を当てる事が出来ると、皆笑顔を見せ、達成感を味わっているようだった。そして皆でスイカを美味しく食べ、夏ならではの活動として楽しむことが出来た。



【夏祭り】

子どもたちのひと夏の思い出として夏祭りを行った。今年度もコロナ禍のため、子どもたちと保育者での実施となった。子どもたちは一人ひとりが法被を着て参加し、3・4・5歳児は異年齢の小グループを作り、お化け屋敷をそのグループで一緒にまわったり、ヨーヨー釣りなどのゲームをはじめ、屋台では保育士の手づくり玩具のりんご飴、綿菓子を買ったりした。特に子どもたちの印象に残っているのはお化け屋敷だったようで、「どきどきした!」「怖くなかったもん!」とお化け屋敷での感想を話してくれていた。

夏祭りの様子はアプリを通して保護者へお伝えした。(写真配信)



【運動会】

運動会は新型コロナウイルス感染症の感染対策として、0歳児、1歳児、2歳児、3・4・5歳児、計4回に分けて行った。4回実施した運動会のオープニングは、最年長児である5歳児の子どもたちが「エイサー」を披露した。コロナ禍であった為、全体での運動会は実現出来なかったが、手足を大きく伸ばして舞い、「ヤー！」という掛け声も大空に響き渡らせながら表現する5歳児の勇ましさを見て頂くことが出来、大きくなったらこんなことができるようになるということも、保護者の皆様に知って頂くことが出来た。そして沢山の拍手をもらい温かい雰囲気の中で行うことが出来た。



【もちつきごっこ】

もちつき大会もコロナ禍の為中止をしていたが、もちつきごっことして実施した。はじめに職員が餅をついてから子どもたちが挑戦するようにした。大きな杵を持ち、子どもたちも目一杯両腕を動かしては餅をつくことが出来、順番を待ち周りから見ていた子どもたちからも「よいしょーよいしょー」という大きなかけ声が出てきて、みんなでお餅をつくという一体感が生まれていた。そしてついたお餅をみんなで丸めて鏡餅を作り、お供えて新年を待つ準備を整えていった。日本の行事の一つである餅つきも今では減ってきていると言われている。しかし、新年を迎える大切な行事の一つとして子どもたちにも伝えながらこれからも取り入れていきたい。



【発表会】

今年度の発表会は、コロナの感染拡大を防ぐため、各年齢を時間ごとに区切って実施をした。保護者の方に見守られた中で発表するという事に子どもたちの中には緊張する子の姿も見られていたが、緊張を感じながらも周りの子と一緒に台詞を言ってくれたり、緊張に打ち勝って子どもたち自身の力で一つずつ言葉を述べたりすることが出来る子もいた。発表会の内容は、日ごろから子どもたちが歌ったり、踊ったりして慣れ親しんだ曲目を中心に取入れていった。「〇〇の役だよ」「先生、台詞言うから聞いてくれる？」など、子どもたちも役になりきって楽しもうとする姿を見ることが出来た。



【ひな祭りの会・お茶会】

ひな祭りの会では、ひな人形が飾られた部屋で、活けた花を愛で、そしてお茶とお茶菓子を頂いた。ひな人形を実際に見ながら「うれしいひなまつり」を歌うと、「お内裏様とお雛様」や「五人囃子」など、歌詞に出てくる名前と人形が一致し、より雛人形に関心を示していた。そしてお茶会では、「静」の時間も意識しながら過ごし、静かな時間の中でお茶やお茶菓子を頂き、そして季節の花を観たり、香りを嗜んだりしてゆったりとしたひと時を楽しんだ。



【海活動】

8月に海活動を行っているが、酷暑の為9月に実施した。潮の香りに包まれながら広大な海を見て、子どもたちの喜ぶ姿が見られた。また浜に上がった貝殻や漂流物を見つけたり、小さなカニを見つけたり子どもたちにとって、五感を刺激する自然体験活動となった。



【王丸キャンプ】

5歳児が、園長宅でもある王丸へ行き1泊2日のキャンプを行った。自然豊かなフィールドで親元を離れ子どもと保育者だけで過ごし、生活をするためにテント立て、トイレづくり、かまどを作り、火をおこし、食事作りを行った。子どもたちはこのキャンプを経験する中で水の大切さ、食べ物のありがたみ、火の温もりなどを感じる貴重な経験となっていた。王丸キャンプを終えた子どもたちは、また一つ成長し、逞しい表情を見せて保育園に帰ってくる姿が見られた。



【春の運動会】

10月、11月に行った運動会を春に再び行っている。前回の運動会から約半年がたち、子どもたちもそれぞれに成長して出来ることも増えている為、かけっこでは距離を延ばしたり、秋にはできなかった異年齢でのダンスを取り入れたりして、また違う内容での運動会を楽しんだ。この春の運動会を通してあの時の感動を再び味わうことが出来、そして異年齢で一緒に関わる機会にもなり、子どもたちの思い出にもなっている。そして給食には、給食の先生が作ってくれた特製のお弁当を食べた。お弁当の蓋には給食の先生からの「がんばりましたね」というメッセージカードも添えられていて、お腹も心も満たされていた。



【卒園ドライブ】

卒園前の思い出作りとして、5歳児の子どもたちは卒園ドライブに行った。小学校に行く子どもたちの交通安全祈願として「成田山神社」へ行き、住職さんにお話を聞かせて頂くことも出来た。また海活動で行った「神湊海岸」へもう一度行き、子どもたちの心に残る活動の一つとなった。



【修了式】

5歳児が、卒園式を終えた後に、在園児の修了式も行った。1年間の思い出を写真でまとめたものを子どもたち一人ひとりが受け取り、一年間こんなことしたね、あれも楽しかったねという会話も交えながら一年間を振り返ることが出来た。そして一つ成長し、進級することを楽しみにする姿が見られた。

